

◇親子見学会報告◇

No.10-60 JSME ジュニア会友向け 機械の日企画
「産総研つくばセンター、JAXA 筑波宇宙センター親子見学会」を終えて

部門企画委員会 梅沢修一(東京電力)、清野裕(原子力機構)

本部門では、機械や工学、エネルギーに興味をもつていただくことを目的として、ジュニア会友のための夏休み親子見学会を企画しています。過去6回、宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター('04、'05)、原子力機構大洗研究開発センター('06)、江東地区エネルギー関連施設('07)、横浜市鶴見地区電力関連施設('08)、横浜市鶴見地区エネルギー関連施設('09)で実施した見学会は、いずれも大変好評を博しました。今回は「機械の日(8/7)」企画として機械週間中の8月5日に産総研つくばセンター、JAXA 筑波宇宙センターを訪問しました。

当日は小学生を中心とする子供たちとその保護者の方々合計68名(委員を含む)が参加、つくば駅に集合し、バス2台に分乗して見学先に向かいました。天候は晴れで、絶好の見学日和です。夏の日差しがかなり強いので熱中症に注意しながら見学を実施しました。

最初の見学場所である産総研つくばセンターでは、バス毎に2班に分かれ、「サイエンス・スクエアつくば」と「地質標本館」を交互に見学しました。サイエンス・スクエアでは、ヒューマノイド型ロボットや3Dの動画を実際に見て子供たちも喜んでいました。地質標本館では、日本で採れた岩石や化石に子供たちが関心を示していました。輝きのきれいな水晶に興味を示しているお母様もいらっしゃいました。

続く JAXA 筑波宇宙センターでは、混雑のため当初は諦めていた小惑星探査機「はやぶさ」を昼食時の間隙をぬって見る事ができ、テンションのあがった状態で見学がスタートしました。JAXA 研究員の岡本篤様のご講演、一般見学(展示館、宇宙飛行士養成棟、無重量環境試験棟、パラボラアンテナ)に加えて、今回は特別に総合環境試験棟(13m² スペースチャンバー、大型振動試験設備、人工衛星 GCOM-W1 の製作状況)も見学することができました。熱心にメモを取りつつ積極的に質問をする子供たちに頼もしさを覚えるとともに、時には講演者/案内者のかたにサインや写真撮影を求めるといった光景も見られ、有意義かつ楽しい見学会となりました。最後に、H-II ロケットの前で記念撮影をし、無事に一日を終了することができました。

子供たちには、見学会の感想などの自由研究作品(感想文、絵日記、工作など)の応募をお願いし、提出いただいた全員に記念品を、また優秀な方には賞状と副賞を贈呈します。優秀作品については、日本機械学会のジュニア会友ホームページなどで紹介する予定ですので、是非ご覧ください。

最後に、本見学会の実施に際して大変お世話になりました産総研つくばセンターおよび JAXA 筑波宇宙センターの皆様方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



地質標本館



JAXA プレスセンターでの講演会



国際宇宙ステーション
実験モジュール「きぼう」



H-II ロケットの前での集合写真



「はやぶさ」 1/2 模型